

サバイバル戦の選技規定

静止	
1 さか落とし 特に説明はなし	http://bit.ly/SiYdjK
2 うぐいす 特に説明はなし	http://bit.ly/U1Va4L
3 つるし一回転灯台 けん先をつるし(右利きの場合:左にけん、右に玉)、けん玉を前方にふり上げ糸をはなして、けんを手前に一回転させて玉をつかみ、灯台。	http://bit.ly/VGByyy
4 月面着陸 玉を持ち、つり下げたけんを引き上げ、玉の上に、大皿を乗せる技。玉を持って構えたとき、大皿の下に糸を引っかけて持つてはならない。けんの上への引き上げ方は、垂直でも前ふりや裏ふりでも、自由である。	http://bit.ly/RxPUBA
5 つるし灯台～さか落とし けん先をつるし(右利きの場合:左にけん、右に玉)、けん玉を引き上げ糸をはなして、玉をつかんで灯台(つるし灯台)をしてから、さか落とし。	http://bit.ly/Y9QhpY
6 パット けん先が下を向くようにけんを持ち、玉を引き上げ、大皿のふちとけんを玉を支える。皿胴・けん先を持つてはならない。乗せるのは小皿のふちでも可。	http://bit.ly/YtHnt4
7 中皿極意 極意グリップでけんを持ち、玉を引き上げて中皿のふちに乗せる。	http://bit.ly/SfR9UF
8 円月殺法前ふりうぐいす 円月殺法の最後が前ふりうぐいす。うぐいすは大皿・小皿どちらのふちでも可。	http://bit.ly/Rv1PS8
9 灯台とんぼ返り～うらとんぼ返り 従来の灯台とんぼ返りをして、そこから反対方向にとんぼ返りをする。 ※とんぼ返り・うらとんぼ返りは肩と肩を結んだ線と並行にけんを浮かせてはならない。	http://bit.ly/Txzw6r
10 回転うぐいすの谷渡り うぐいすの谷渡りの上げ・渡り・けんの3つの動作それぞれで玉を回転させる。玉の回転方向はふりけん・うらふりけんどちらでも可とするが、同じ回転方向にすること。	http://bit.ly/StqK74

空中	
1 つるしとめけん 特に説明なし。	http://bit.ly/PKbndz
2 ろうそく空中ブランコ 空中ブランコの完成形がろうそく。	http://bit.ly/Si0g7B
3 ピルエット空中ブランコ 空中ブランコでけん玉が空中に上がっている間に体を1回転させ(ピルエット)、けんをキャッチして玉を中皿にのせる。	http://bit.ly/Tph3Vd
4 宇宙遊泳一回転灯台 宇宙遊泳の最後が一回転灯台。	http://bit.ly/PpO07K
5 ヌンチャク飛行機 利き腕でけんを持ち、玉を肩の下を通して逆手でキャッチし、けんを逆の肩の下を通して利き手でキャッチし、再度玉を肩の下を通して、利き手で玉をキャッチして飛行機をする。けん・玉のキャッチができなかった場合は失敗。	http://bit.ly/YtFjuu
6 一回転中皿 一回転灯台の乗るタイミングで玉を空中に投げてけんをつかみ、玉を中皿に乗せる。皿胴を持つてはならない。	http://bit.ly/TpgY3O
7 うずしお灯台	http://bit.ly/RxRpQc

けん先に玉の穴が入った状態で糸をつるし、指で3回転以上させてから空中に放って玉を取って灯台。回転させる指は1本のみとし、どの指を使うかは自由とする。

8 稲妻落とし一回転飛行機

<http://bit.ly/VGCQtn>

稲妻落としの最後が一回転飛行機。

9 円月殺法玉取って刺す

<http://bit.ly/Sj33xt>

円月殺法の最後にけんを空中に投げて玉を取り、落ちてきたけんを飛行機の形で受ける。円月殺法はやて落としになっても可。すくいけんになつてはならない。

10 円月殺法前ふりバット

<http://bit.ly/SfRQxx>

円月殺法の最後が前ふりバット。(けん先が下を向くようにけんを持ち、玉を前にふり、大皿のふちとけん玉を支える。皿胴・けん先を持ってはならない。乗せるのは小皿のふちでも可。)

特殊

小皿金魚すくい

<http://bit.ly/Stmd4k>

小皿で金魚すくい。

秘竜のぼりけん

<http://bit.ly/Y9JCfq>

とめけんグリッパで玉を中皿に乗せ、腕をひねり、体をそらして腕を回して県一周。

けん早抜き早ざし

<http://bit.ly/SfPOx8>

飛行機の完成形から始め、けんを回転させずに完全に空中に浮かせ、再度飛行機の完成形にする。

ペンシルまわし

<http://bit.ly/VgweXf>

玉を大皿に乗せ、中指で小皿を支えながらけんを大皿の中心と小皿の中心を結んだ軸で1回転させる。玉が大皿と完全に接触しなくなる瞬間があつてもかまわないが、中指が小皿からはなれてはならない。

逆手灯台

これまで試技を行ってきた手とは逆の手で灯台をする。

つり

<http://bit.ly/TpglHy>

けんの上側に糸を引っかけて、極意グリッパで構える。けんにつっかけた糸がすべり止めと中皿のふちの間に来るように玉を上げ、けんと糸で輪ができたところに玉を通し、糸がすべり止めに引っかかって玉をつる形になったら成功。文章だけでは伝わらないので、動画や参照先の図も参照すること。

[参照先](#)

筋肉ふりけん

<http://bit.ly/TxzICI>

腕にけんをはさんで、ふりけんをする。けん先を体の内側・外側どちらを向かせて挟むかは自由である。糸が腕に触れても可とする。

ホームラン

<http://bit.ly/VGCBif>

玉を大皿に乗せる。中皿のふちで玉を叩いて、一連の流れで玉を振って、玉をけん先で受ける。試技は大皿から始めること。

中皿金魚すくい

<http://bit.ly/Q9GE9X>

中皿で金魚すくいをする。玉の上げ方は直線・遠心力どちらでも可とし、持ち方も自由であるが、玉に手が触れてはならない。

あやとり宇宙ロケット

<http://bit.ly/Vg69HW>

中指に糸をかけ、けんを前にふり、けん先に糸をひっかけながら中指で中皿を抑える。他の指に糸をかけ、中皿を抑えてもよいが、糸をかける指と中皿を抑える指が同じになること。完成形の目安として、糸が出ている穴が下を向いている場合はけんの上に糸3本が見える。糸がどちらかの皿にひっかった場合は失敗。

タイム競技戦の選技規定

カウントアップ

共通事項

「かまえ、はじめ」の合図と共に試技をはじめ、「それまで」の声がかかった時点で試技を終了する。「それまで」の「で」の声と同時に技を成功させた場合はカウントを認めるが、動作の最中に声がかかった場合、その技についてはカウントを認めない。

1 宇宙遊泳

宇宙遊泳を90秒間にできるだけ多く成功させる。けん先が玉の穴に完全に入って1回とみなす。逆手で玉を止める必要はない。過不足なくけん玉を空中で回転させること。

2 一回転飛行機

一回転飛行機を60秒間にできるだけ多く成功させる。けん先が玉の穴に完全に入って1回とみなす。1回ごとに逆手でけんを止めること。過不足なくけんを回転させること。

3 さか落とし

さか落としを60秒間にできるだけ多く成功させる。玉と中皿が完全に接触し、かつけん先が玉の穴に完全に入って1回とみなす。1回ごとに逆手でけんを止めること。過不足なくけんを回転させること。玉と中皿が完全に接触していれば、静止の必要はない。

タイム競技K

1 宇宙一周2回連続

<http://bit.ly/VGD0kt>

宇宙一周の後に、玉を下ろさずにもう一度宇宙一周。

宇宙一周：皿胴～けん～小皿～けん～大皿～けん～中皿～けん

※1: 玉と皿を完全に接触させ、かつけん先に玉の穴を完全に入れること

※2: 大皿～けん～小皿～けんも可

2 自由の女神

<http://bit.ly/VGCWS2>

とめけんを頭上で決める。玉の穴がけん先に完全に入った時、けん玉が頭上に在ること。腕が曲がってはならない。

3 土星まわし

<http://bit.ly/UmdZdE>

小指姫から玉を地球まわしの方向に一回転させて小指姫の完成形にする。

※身体的な理由で試技が不可能な場合は、当競技開始前に審判長に申し出ること。

4 ピルエットつるし持ち

<http://bit.ly/X4rJzy>

手拍子つるし持ちの要領で構え、空中に投げる。その間に自分の体を回転させ、(=ピルエット)けん玉をキャッチする。けん玉を空中に投げる時、肩幅より外側に投げ上げてはならない。なお、ピルエットの回転方向は問わない。

5 逆手はねけん

これまで試技をしてきた手と反対の手ではねけんを行う。逆手飛行機からはじめること

6 ライジング飛行機

<http://bit.ly/StoJru>

(右利きの場合)右手でけんを持ち、玉を下に垂らして構える。玉を右にふり、体の右側から背中後ろを通して、けんを放し、けん玉を空中に浮かせる。体の左側に浮かび上がった玉を「右手」でつかみ、そのままの勢いで飛行機の要領でけん先を玉の穴で受ける。

7 灯台～ひっつき虫～すくいけん

<http://bit.ly/WcGKI0>

灯台を決めてから、ひっつき虫を決め、最後にすくいけん。ひっつき虫の玉を接触させる皿については小皿・大皿どちらでも可とする。すくいけんは、けん先が水平よりも上を向いた状態ですくうこと。

8 ふりけんつむじ風

<http://bit.ly/UmaROH>

ふりけんの中にけんを完全に手から離して一回転させる。

※けんの回転方向については問わない

9 金魚すくい～大皿さか落とし

<http://bit.ly/QXGsHF>

金魚すくいを決めてから、大皿さか落としを決める。

※1: 金魚すくいは大皿ですくうこと。

10 月面着陸～灯台～さか落とし

<http://bit.ly/Q9JlrY>

月面着陸を決め、灯台を決め、さか落としを決める。月面着陸から灯台へ移る時の回転数・方向については問わない。

11 横はねけん

<http://bit.ly/Rv1puZ>

特に説明はなし

<p>12 かぶせけん</p> <p>玉を持ち、すくいけんを決める直前で玉からけんを持ちかえ、とめけんの完成形にする。持ちかえの時に玉の穴にけん先の一部または完全に入っていること。</p>	<p>http://bit.ly/PpNarJ</p>
<p>13 はやて落とし</p> <p>けんを持ち、けん玉を空中で4分の1回転させて玉を取り、落下してきたけんを玉の穴で受ける(=飛行機の完成形)。技は体の正面または側面で行うこと。</p>	<p>http://bit.ly/Vg71fC</p>
<p>14 さるのこしかけ~けん</p> <p>ろうそくグリップで、小皿のふちとけん軸の間に玉を乗せ(さるのこしかけ)、空中に投げ上げてけんを取って、玉の穴をけん先に入れる。</p> <p>※1: 皿胴を持って決めた場合は失敗(=ろうそく返しにおける持ちかえの規定と同じ要領)</p> <p>※2: さるのこしかけは小皿・大皿どちらのふちで止めても可</p>	<p>http://bit.ly/VGDbfM</p>
<p>15 スーパーフラミング宇宙遊泳</p> <p>宇宙遊泳の要領でけん玉を空中に投げ、けん玉を両足の下を連続で通し宇宙遊泳を決める。最後の飛行機の部分がすくいけんのようにしてはならない。</p>	<p>http://bit.ly/Pp05Jj</p>
<p>16 はやぶさ返し一回転飛行機</p> <p>はやぶさ返しから一回転飛行機。</p>	<p>http://bit.ly/Q9JfAx</p>
<p>17 二回転灯台~けん</p> <p>二回転灯台を決め、けんを持ちかえて玉の穴をけん先で受ける。</p>	<p>http://bit.ly/SAb5o6</p>
<p>18 半螺旋飛行機</p> <p>けんを持ち、利き手の方向に玉を1回転させ、逆手の人差し指に糸を巻きつけ、けんを放してすぐに玉を取って飛行機。 http://juggling.tv/11705の5分16秒からを参照。</p> <p>参照先</p>	<p>http://bit.ly/RxjHbQ</p>
<p>19 うら飛行機~うらはねけん</p> <p>うらふりけんの要領(=飛行機とは反対の軌道)で飛行機を行う。続いて、従来のはねけんとは逆回転のはねけん(うらはねけん)を行う。うら飛行機、うらはねけんは肩と肩を結んだ線と並行にけんを浮かせてはならない。</p>	<p>http://bit.ly/Pp00tk</p>
<p>20 太陽極意~けん</p> <p>とめけんグリップで持ち、玉をすべり止めに乗せ(太陽極意)、そこから玉の穴をけん先で受ける。</p>	<p>http://bit.ly/PKbBS9</p>
<p>21 片足灯台とんぼ返し~さか落とし</p> <p>どちらかの足を浮かせたまま、灯台とんぼ返し~さか落としをする。</p>	<p>http://bit.ly/TX1hkW</p>
<p>22 三回転飛行機</p> <p>二回転飛行機よりも一回転多い飛行機。</p>	<p>http://bit.ly/TX20CB</p>
<p>23 半月殺法</p> <p>円月殺法の要領でけん玉を投げる。1回転弱したけんを取り、落下してきた玉をけん先で受ける。けんを取ってから糸で玉を引っ張ってはならない。</p>	<p>http://bit.ly/YtHU7M</p>
<p>24 鷹の舞</p> <p>玉を持ち、(右利きの場合)けんが体の周りを反時計回りするように回して手を放す。けんをキャッチして同様に玉が体の周りを反時計回りするように回して手を放し、玉をキャッチして飛行機。</p>	<p>http://bit.ly/RxicdB</p>
<p>25 しまいけん</p> <p>糸を皿胴にたすきがけで巻きつけながらふりけんをする。2回以上巻きつけること。</p>	<p>http://bit.ly/TpfRB7</p>